

戸豊水小水力発電の地域共生促進事業

1. 補助事業の目的

一級河川菊池川から取水する古川兵戸井手用水路の「捨て水」を使って発電を行う戸豊水小水力発電所の建設にあたり、古くから地域住民より地域が大事に守ってきた用水路・棚田と小水力発電所を知り、学ぶことのできる環境学習に資する環境整備の要望を頂いている。将来にわたって安定的に発電事業を継続できるよう、住民の声を反映した環境整備を実施し、地域と共生する事業の実現を図ることを目的とする。

2. 補助事業の概要

(1) 事業者名

戸豊水小水力発電の地域共生促進事業

(2) 事業期間

令和6年 10月 23日 ～ 令和7年 1月 29日

(3) 対象地域

熊本県菊池市

(4) 対象地域の状況

熊本県菊池市は熊本県北東部に位置し、人口約4万7千人の市である。北部の八方ヶ岳から東部の阿蘇外輪山の鞍岳まで山岳が連なる山林や、菊池溪谷を成す清冽な菊池川の源流などの豊かな自然に囲まれた地域で、菊池平野を中心に肥沃な土地を形成している。

また市内を流れる菊池川は、その源を熊本県阿蘇市に発し、迫間川、合志川、岩野川等を合わせつつ玉名市から有明海に注ぐ、熊本県最北端の一級河川であり、九州電力株式会社の発電所などが存在するなど、豊かな水資源を活用している地域である。

(5) 対象発電所

水系・河川名 一級河川菊池川水系菊池川（戸豊水小水力発電所の取水は、菊池川から取水する古川兵戸井手からとなる）

発電所名 戸豊水小水力発電所

事業者 一般社団法人こども水力発電所

出力 49.9kW

3. これまでの取り組み状況と課題

戸豊水小水力発電所の建設計画推進については、計画当初より地権者、戸豊水区、用水路の管理者である古川兵戸井手管理委員会及び菊池市土地改良区、菊池川漁業協同組合、菊池市に説明を重ね、一定のご理解を得ている。また、古川兵戸井手管理委員会からは、古川兵戸井手（世界かんがい施設遺産に登録）の歴史を後世にも受け継いでほしい、この用水路を活用した小水力発電とあわせて、教育の場としてほしいことが求められた。戸豊水区からは、小水力発電を契機として、視察や交流人口が増え、地域の魅力に関心をもたられることを望まれている。こうした地域・関係者からの要望を受け、地域が大切にしてきた農業資産と小水力発電を知ってもらい、学ぶことのできる教育の場としての施設整備が必要と判断した。事業主体である「一般社団法人こども水力発電所」は、こうした地域の課題・要望を、地域内だけでなく、地域外の関心ある人も巻き込んでともに発電事業を行っていくために設立した非営利法人である。

4. 実施概要

小水力発電と地域の歴史を学ぶことのできる「学びの場」環境整備として、土地の整地等の実施を行った。具体的には、空家がある現況では、敷地内を複数人が見学するのに十分なスペースがなく、その場で説明を行うことも困難な状況であることから、空家の解体を行い、ブロック塀の撤去や雑木林の伐採などをおこなうことで開放的にし、敷地内では芝生などを張り整地した後に、歴史と小水力を学ぶ空間づくりのしかけとして、菊池市の古墳をモチーフとして、盛土による整備をおこなうことで、視察に訪れた人が、学習できる空間の創出を行った。



5. 得られた効果

本事業の実施により、人々が集い、学ぶことのできる空間の創出を実施できた。その結果、令和7年2月6日に、発電所が所在する戸豊水区の住民の方々をはじめ、菊池市、菊池市教育委員会、菊池市土地改良区、地元メディア等、関係者を含め50名超が出席してのお披露目を開催することができた。本事業を通じ、地域との共生はもとより、今後、地域の課題解決に向けた礎を築くことができたと考える。今後は視察対応等、地域の方々と連携しながら、「学びの場」をさらに活用していくよう取り組む。